



株式会社木代建築工芸 SDGs宣言

当社は、「木工を通して社会貢献する」という経営理念のもと、
事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、
地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2023年4月1日

株式会社木代建築工芸

代表取締役 高橋 英明



重点項目(ターゲット2030)

思い出を育む住まいの提供

職人の手作業で、木のぬくもりを感じられる、特別な住まいを提供します。家族がずっと笑顔でいられるよう、お客さまと二人三脚で、想いを込めた家づくりに取り組みます。

【主な取り組み】

代表者の宮大工としての技術力、県木材の使用、お客さまとの対話によるニーズ把握、納得のいく丁寧な説明、定期的なアフターフォロー



文化・伝統の継承、家族のぬくもり

地元の文化的建物や太鼓台の維持修繕を行い、地元文化の継承に貢献します。地元住民を対象としたワークショップも開催し、は材を用いて、家族でモノづくりを行い、家族と木のぬくもりの大切さを伝えます。

【主な取り組み】

寺院・神社の新築・修繕・建替え、太鼓台の修繕、ワークショップへの取り組み、地域人材の採用、地域行事への参画・協賛



環境に配慮した住まいづくり

熱伝導率が低く、断熱性が高い木の特性を生かした、木造建築を提供します。端材を用いて、家具の制作を行い、廃棄物削減にも貢献します。

【主な取り組み】

廃棄物を極力出さない設計、端材を用いた家具・建具の制作、薪ストーブ利用による廃棄物の削減、断熱性の高い住居の提供、全従業員での節水運動



働きがいのある職場づくり

すべての従業員が一人前の「職人」として成長できるよう、職場の支援体制の向上に取り組みます。従業員の声を聞き、職場環境の更なる向上に努めます。

【主な取り組み】

労使の積極的なコミュニケーション、ハラスメント禁止、従業員の適性を配慮した配置、公平な評価、OJTによる現場指導での技術承継、外部研修の励行



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。